

千葉市、千葉大学及びノボ ノルディスク ファーマ株式会社の 肥満及び肥満症対策に関する連携協定





千葉市を取り巻く健康課題 本連携の概要

千葉市
市長 神谷 俊一

千葉市を取り巻く健康課題と現状



千葉市の健康・医療に関する主な取り組み

千葉市の基本計画（計画期間：令和5～14年度）において、特定健康診査・特定保健指導の推進、パーソナルヘルスレコードを活用した健康施策の推進、食育の推進などを位置付け、生活習慣の改善、生活習慣病の発症・重症化予防、誰もが健康になれる環境づくりの推進などに取り組んでいる。



100年を生きる。
千葉市

千葉市を取り巻く健康課題と現状



千葉市における肥満に関する現状

健やか未来都市ちばプラン（計画期間：平成25年度～令和5年度）の最終評価において、肥満傾向にある子ども、成人の肥満者、高血圧、脂質異常症、メタボ該当者、特定健診の実施率などに関する指標の改善が見られず、適正体重を維持するための食事量の摂取や運動習慣を身につけること、健診受診率の向上などに課題がある。

	平成23年度 実績	目標	令和3年度 実績	評価
肥満傾向にある子ども(小5) の割合：男子	4.3%	減少	6.7%	悪化
肥満傾向にある子ども(小5) の割合：女子	3.0%	減少	3.6%	悪化
20～60歳代男性の肥満者の割合	28.0%	20.0%	32.6%	ほぼ変化なし
40～60歳代女性の肥満者の割合	15.8%	13.0%	17.6%	ほぼ変化なし

連携体制と意義



千葉大学

- 肥満症に関する高い専門性
- 肥満症の幅広い合併症までカバーした医療提供体制
- 公衆衛生に関する高い専門性
- アカデミアとして研究を推進



ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

- 国内外における豊富な官民学連携実績
- 深刻な慢性疾患の克服を目指した取り組み実績
- 予防から治療まで幅広い領域で肥満症患者を支援



**肥満及び肥満症に関する環境
(理解向上や生活習慣の改善など予防の促進)
を整備し、千葉市がより健康な社会を実現する
モデル都市へ**

千葉市



- 基本計画に基づき将来を見据えたまちづくりを推進
- 健やか未来都市ちばプランに基づき肥満対策を含む健康づくりを推進

連携事項と意義



官民学の三者連携を通じて、肥満及び肥満症に関する環境を整備し、
千葉市がより健康な社会を実現するモデル都市になることを目指す

連携事項

1. 地域住民、保健医療関係者の肥満及び肥満症に関する理解向上に資する事項
2. 千葉市国民健康保険被保険者の肥満及びその関連疾患の分析に関する事項
3. 特定健康診査・特定保健指導における肥満及び肥満症に関する事項
4. 子どもの健康応援に関する事項
5. その他、肥満及び肥満症対策に資する事項



連携事項



1. 地域住民、保健医療関係者の肥満及び肥満症に関する理解向上に資する事項

肥満は、生活環境や生活習慣だけでなく遺伝やその他の様々な要因等により引き起こされ、様々な疾患の発症と関連があるため、健康づくりにおいて肥満の予防・対策は重要。中でも肥満症は疾患認知が低く、肥満症の正しい疾患認識を啓発し、理解向上を目指すことが必須である。

主な取り組み案

世界肥満デー（3月4日）に合わせて、千葉市の広報チャネルを通じた肥満及び肥満症等の啓発を実施

- ・ 千葉市公式 Facebook、LINE、YouTube、X（旧Twitter）
- ・ ザ・サンデー千葉市（チバテレ） など
- ・ ちば市政だより

市民公開講座の実施

2. 千葉市国保被保険者の肥満及びその関連疾患の分析に関する事項

特定健康診査によって、メタボリックシンドローム該当者の割合は経時的に報告されているが、肥満症該当者の実態は把握できていないため、千葉市における肥満と肥満に関連する健康障害の実態を把握し、今後の保健指導又は医療提供の計画にエビデンスを提供する。

主な取り組み案

データベース共同研究

千葉市の国民健康保険データ、特定健康診査データを用いて、非肥満/肥満/高度肥満者の状況をデータ解析により把握する。



連携事項



3. 特定健康診査・特定保健指導における肥満及び肥満症に関する事項

特定健康診査、特定保健指導の新たな肥満症対策の取り組みを検討する。

主な取り組み案

共同研究

- ・ 千葉市特定健康診査において、肥満症スクリーニング項目の検討
- ・ 肥満症リスク対象者に対する特定保健指導における肥満症関連指導の導入

4. 子どもの健康応援に関する事項

幼児期から健康づくり（食事と運動の最適化）に努め、将来の肥満症を予防するための取り組みを検討する。

主な取り組み案

- ① 6～12歳の児童を対象とした、食事と運動の両面からの生活習慣の向上に資する取り組み
- ② 3歳児健診における健康関連スクリーニング項目の検討

5. その他、肥満及び肥満症対策に資する事項



連携の展開



千葉市が
より健康な都市に



全国・世界へ波及

- 千葉市の取り組みが全国へ波及
- 世界へ千葉市の取り組みを発信



好事例の発信

- 取り組み内容の成果の取りまとめ
- 取り組み内容のブラッシュアップ
- モデルを好事例として発信



モデル都市構築

- 住民等への肥満及び肥満症に関する啓発
- 千葉市国民健康保険被保険者の肥満及び関連疾患の分析
- 特定健康診査・特定保健指導における肥満症に関する取り組み
- 子どもの健康応援に関する取り組み





肥満症 疾患解説

千葉大学の本連携における 役割と期待

千葉大学
学長 横手 幸太郎

肥満・肥満症・メタボリックシンドロームの違いと問題点

肥満

BMI $\geq$ 25



健康障害の
有無を問わない

肥満症

BMI $\geq$ 25



以下の健康障害を1つ以上有する

1. 耐糖能障害（2型糖尿病・耐糖能異常など）
2. 脂質異常症
3. 高血圧
4. 高尿酸血症・痛風

5. 冠動脈疾患
6. 脳梗塞・一過性脳虚血発作
7. 非アルコール性脂肪性肝疾患
8. 月経異常・女性不妊
9. 閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群
10. 運動器疾患（変形性関節症：膝関節・股関節・手指関節、変形性脊椎症）
11. 肥満関連腎臓病

or

内臓脂肪型肥満

特定健診(メタボ健診)
で検出できる

特定健診で
見逃される可能性や
フォーカスされない
合併症を含む

メタボリックシンドローム

腹囲 男性：85cm以上／女性：90cm以上



どれか2つ以上当てはまる

- トリグリセライド値：150mg/dL以上
かつ/又は
HDLコレステロール値：40mg/dL未満（男女とも）
- 血圧：130/85mmHg以上（かつ/又は）
- 空腹時血糖値：110mg/dL以上

肥満症は治療が必要な疾患

肥満症の治療とは？

食事療法

運動療法

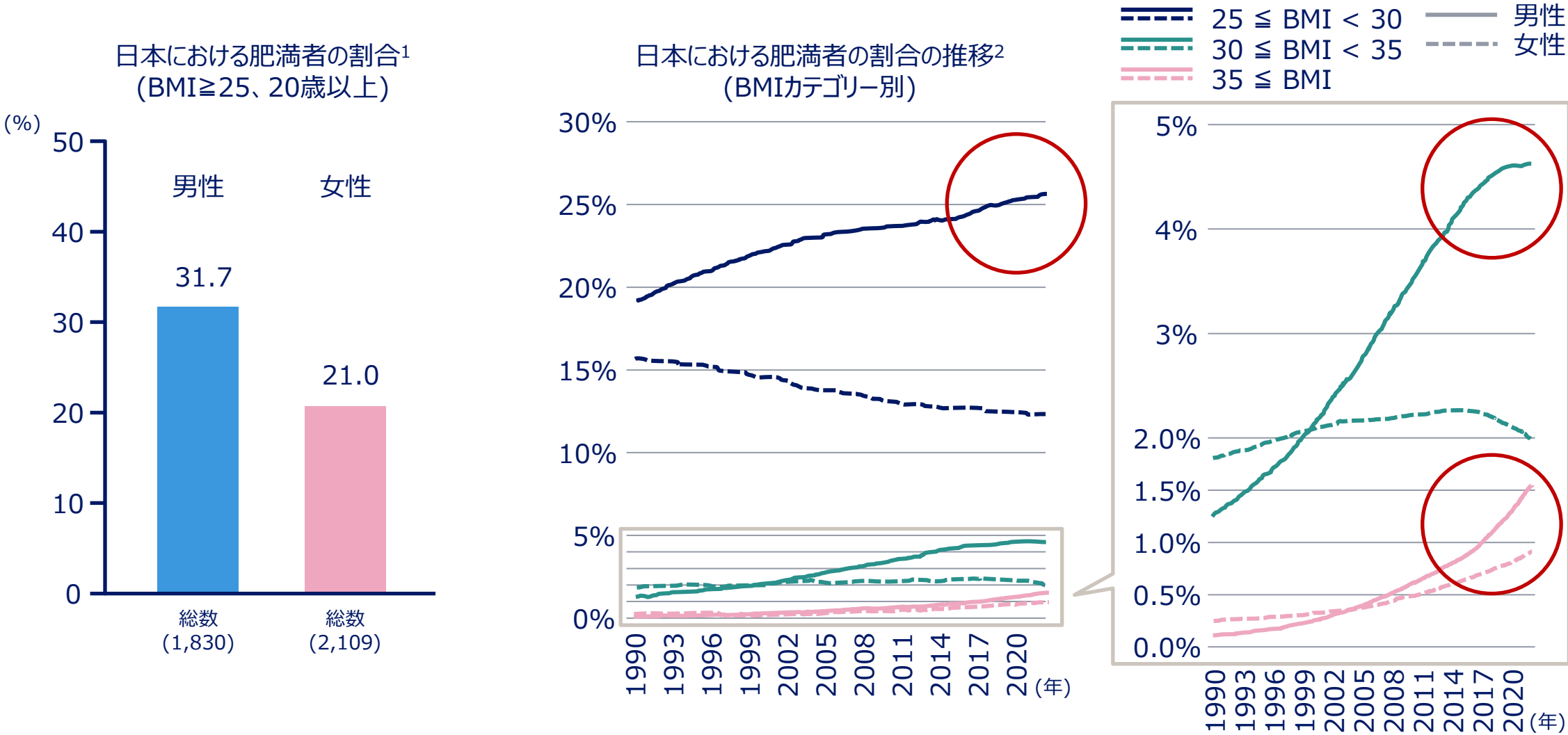
行動療法

薬物療法

減量・代謝改善手術（胃縮小術）

日本における肥満の現状

日本においても肥満そして特に高度肥満が増えている



1. 厚生労働省 令和4年 国民健康・栄養調査報告 <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001296359.pdf> (最終アクセス：2024年9月)
2. <https://www.ncdrisc.org/> より作図

肥満・肥満症の要因と課題

肥満は
自己責任だけではない



日本における
肥満症を
取り巻く課題

- 肥満症や肥満症に合併する疾患の実態が明らかになっていない
- 特定健診（メタボ健診）において、検出できていない潜在患者さんが多くいる可能性がある
- 子どもから大人まで切れ目なく、予防から合併症を含めた治療を提供する仕組みがない
- 肥満に対するスティグマ（差別・偏見）が存在する

千葉市がこれらの課題に先進的に取り組むモデル都市に！

1. 肥満症診療ガイドライン2022 P.3, 4, 32より作図

千葉大学における肥満症への関わりと実績



- 日本肥満学会理事長／千葉大学学長 横手とそのチームで、
日本における肥満・肥満症の臨床と研究をリードする
- 1982年に日本初の肥満外科手術を実施し、現在では高度肥満患者に対する
日本肥満症治療学会の肥満症外科手術認定施設（全国17施設）のひとつ



肥満症専門外来

- 内科・外科医師、管理栄養士、臨床心理士、看護師を含むチーム医療を実践
- 多職種スタッフによるライフスタイルの提案・行動療法と
最新の肥満症治療薬及び肥満症外科手術の提供



肥満症に関連する研究

- SLIM-TARGET試験及びSLIM-TARGET FU試験：肥満症治療の効果的な戦略と
健康障害改善を目指す多機関共同研究を主導し、リアルワールドエビデンス創出を目指している
- 基礎研究：食欲、体重調節、インスリン抵抗性など肥満症関連の疾患メカニズム解明のための
生命科学研究を行い、学術的成果を報告



産官学民連携を通じた健康まちづくり

千葉大学予防医学センター 社会予防医学研究部門・健康まちづくり共同研究部門

千葉大学予防医学センターは、
健康な身体、健康な心、健康な環境を
三本柱として生活習慣病や心の病、環境
がもたらす健康影響などを事前に予防する
「予防医学」の研究とその普及を行っている。



本連携への
期待

これらの千葉大学の知見を活用し、実態調査や研究などさまざまな取り組みを通して、
肥満症における医療連携体制を構築するとともに予防にも取り組み、
肥満症を取り巻く環境の改善と市民の健康に寄与する



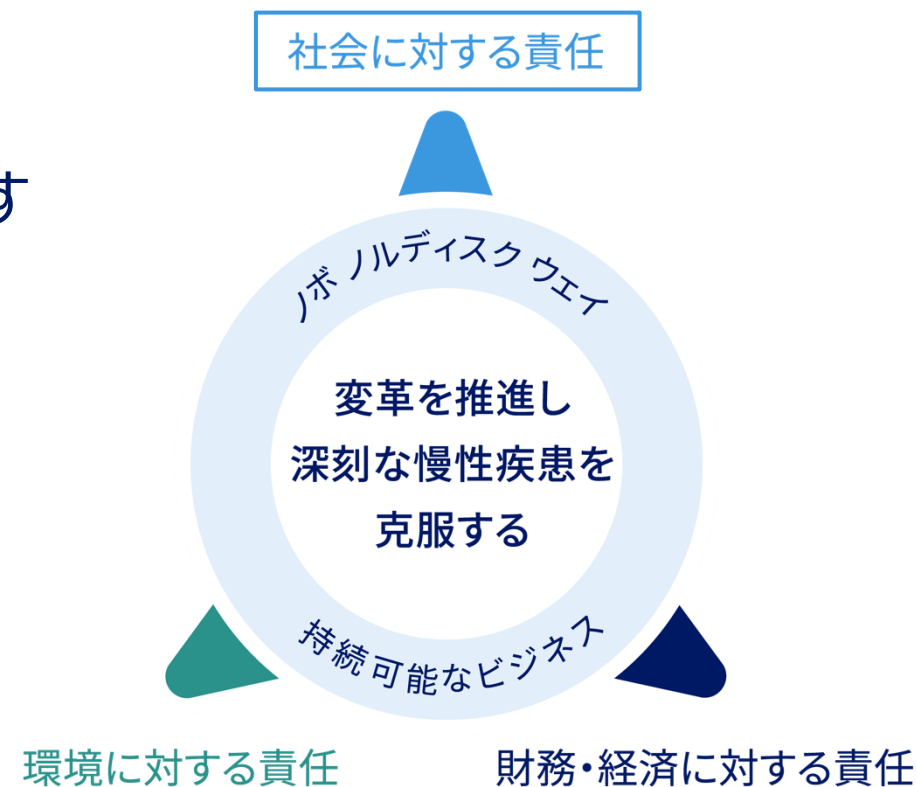
ノボ ノルディスク 日本と世界における官民学連携の 取り組みと本連携への貢献

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
代表取締役社長 キャスパー ブッカ マイルヴァン

変革を推進し深刻な慢性疾患を克服する

目標

- 社会に価値を提供するサステナブルな企業を目指す
- 官民学連携による、持続可能な医療制度の構築に取り組む



官民学連携による疾患予防対策への取り組み



旭市：糖尿病の発症・重症化予防の活動

パートナー



目標

すべての政策において健康増進の視点を取り入れ、糖尿病の発症・重症化予防に貢献する

結果

- ・庁内横断チームを立ち上げ、糖尿病対策地域連絡会を設立し、糖尿病の発症・重症化予防に取り組んでいる
- ・「すべての政策において健康を考慮すること」の実現のため、この活動を市の総合戦略に組み込む議論を進めている

郡山市：糖尿病対策に関する共同研究

パートナー



目標

郡山市特有の社会、文化、環境要因を把握し、糖尿病の重症化予防に貢献する

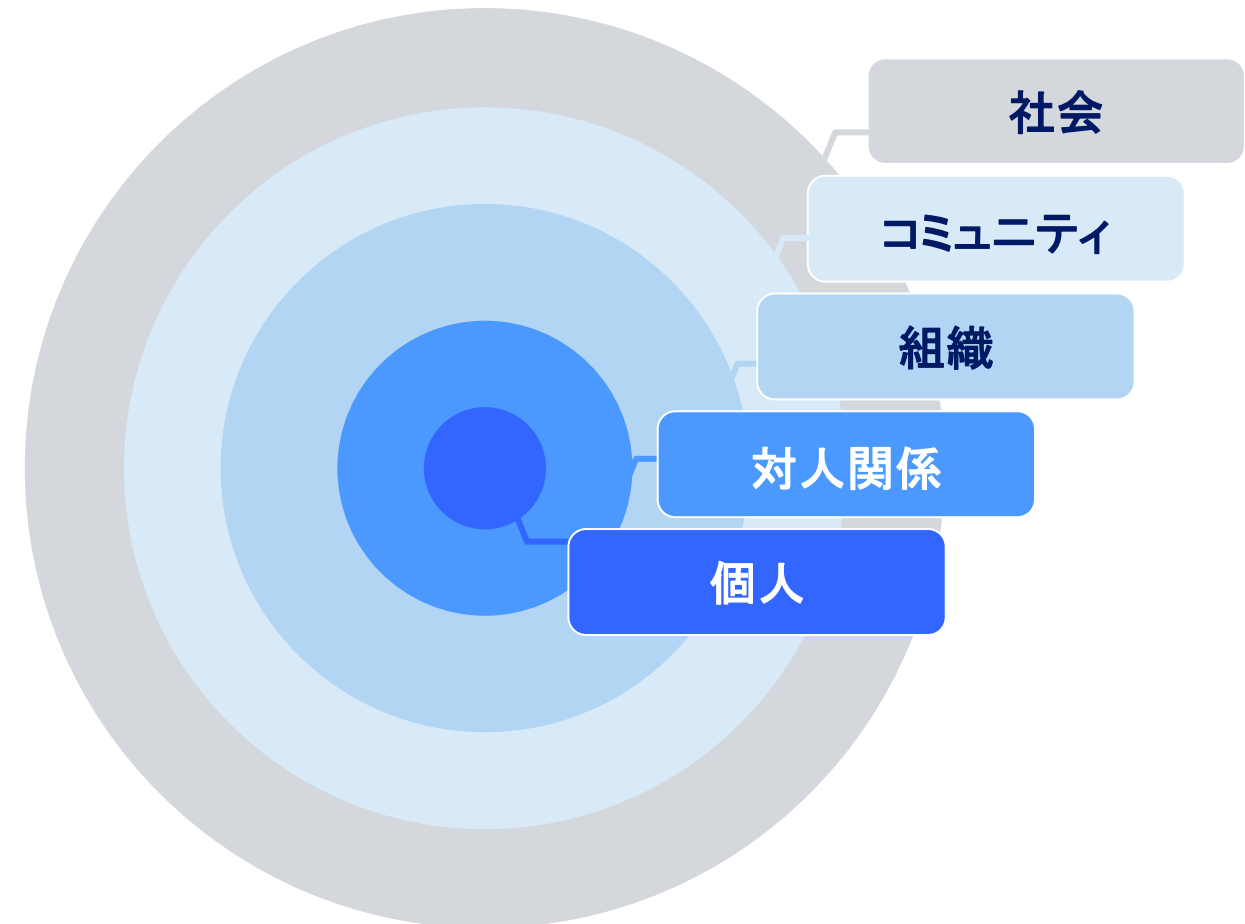
結果

- ・糖尿病合併症の発症・重症化予防の治療継続には疾患の正しい理解・認識が重要であることが明らかになった
- ・研究結果は、市民に周知され、医療・保健等の関係機関に情報共有され、成果論文として発表された

肥満の克服には社会的な連携が必要

肥満は個人の責任ではなく 社会全体の責任である¹

あらゆる年齢層の肥満予防と管理に対し、
包括的なアプローチを実現するためには、
多分野との協力が必要である²



1. WHO acceleration plan to stop obesity (2023)

2. K den Hertog, V Busch, The Amsterdam Healthy Weight Approach: A Whole systems approach for tackling child obesity in cities, European Journal of Public Health, Volume 30, September 2020.

ノボ ノルディスクはパートナーシップを通じて、健康的な地域社会の実現にコミットする



ライトハウス ライフサイエンス

－ デンマークにおける健康的な体重実現への取り組み

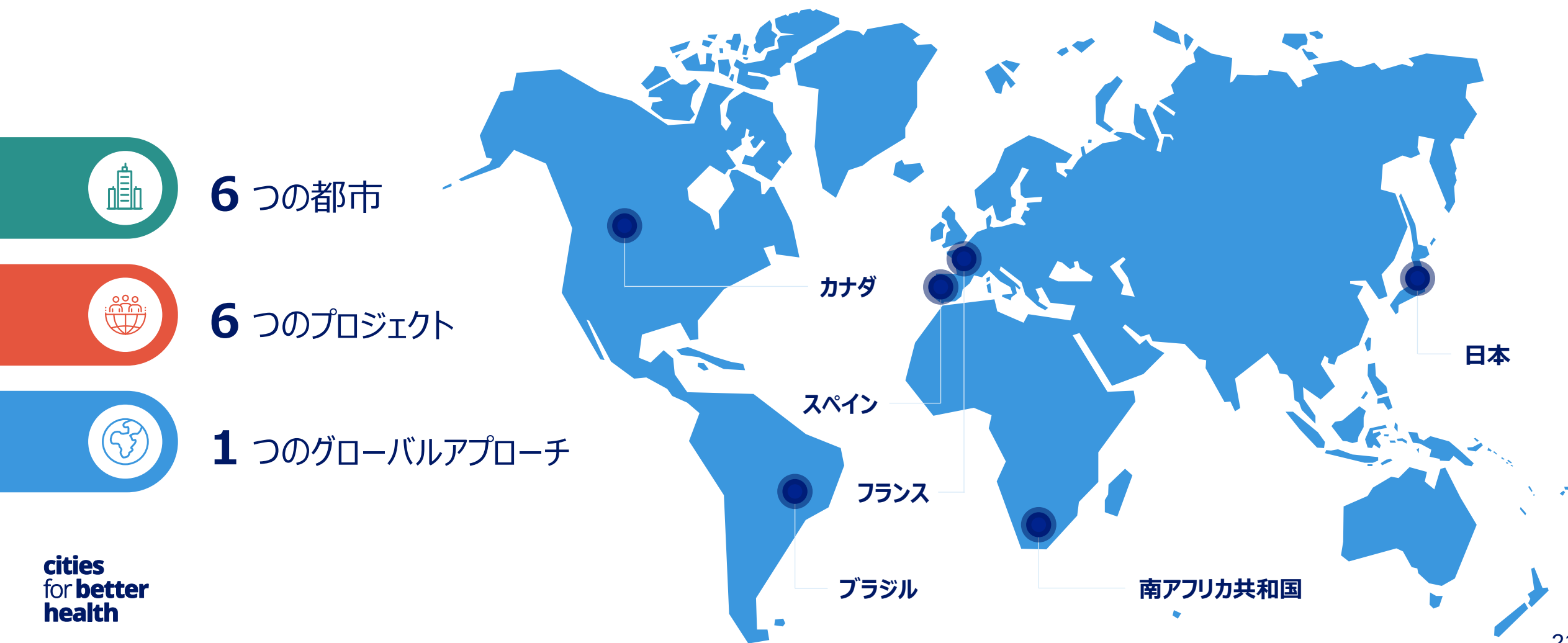
- 肥満による社会負担へ対応するための、デンマークでの官民パートナーシップ
- あらゆる状況における肥満の予防及び管理
- 健康領域での革新の促進と、肥満対策を経済発展の原動力と見なす機会を提示

**cities
for better
health**

まちが元気を創り出す (CBH: Cities for Better Health)

- 肥満症、糖尿病、心血管疾患などの慢性疾患の根本要因に対処することにより、健康の公平性を促進していく官民パートナーシップ
- 世界で**50以上のパートナー都市**と**300以上の地域協力者**とのコラボレーション
- 政策改善、科学的根拠に基づく施策、イノベーションの推進

CBH子どもの健康応援イニシアチブは世界6か国で各地域の子どもの健康促進に取り組む



ノボ ノルディスク ファーマの本連携への貢献



本連携への貢献

- 国内外における豊富な官民学連携実績の共有
- 深刻な慢性疾患の克服を目指した取り組み実績の共有
- 予防から治療まで幅広い領域で肥満症患者を支援

**千葉市における肥満・肥満症を
取り巻く環境整備を全面的に支援し、
好事例の積極的な発信と全国、
世界への普及を促進する**

